

「今週の一枚」



ヒノキカワモグリガ （ハマキガ科）

前翅の長さが6～7mmの小さな蛾の一種。銀灰色の地に黒褐色の太い線があり、翅を閉じるときれいな六角形の模様になる。幼虫がスギやヒノキの内樹皮を食べるが、食べた痕が黒く変色して木材にシミができるため、木材の価値を下げる害虫として扱われている。成虫は6月ごろに発生し、スギ・ヒノキの林の中を飛び回り、誘蛾灯をつけるとよく集まる。（佐藤）

（No.18 2001.10.1 掲載）